



発送前にランドセルを綺麗に

ンガへ届けられる予定です。また、これまでNPO 砂浜美術館が世界各国で開催し

ランドセルプロジェクト・Tシャツアート展 in トンガ
 婦人連合会とPTA連合会が協力し、町内各地から集めたランドセルを海外へ寄贈する「ランドセルプロジェクト」。昨年より始まった同プロジェクトにこの程、NPO 砂浜美術館によるTシャツアート展があわせて実施されることになりました。
 昨年始まった「ランドセルプロジェクト」の活動は、平成28年11月に実施された「世界津波の日高校生サミット in 黒潮」をきっかけに、「せっかくなにか継続していくことができないか」という住民の思いから始まったもの。婦人連合会とPTA連合会の主導のもと、小中学校を中心に声掛けを行い、外務省などの協力を得ながら始動し、今年度は約50個のランドセルがト



文字などを書き込んだTシャツ

でも予定されている、その後、町内の小学4年生の授業でも活用されるといわれています。

てきたTシャツアート展を同時に行うことで、砂浜美術館の考え方に深めようと合同での企画にいたしました。
 町内から集まったランドセルは9月18日(火)、ファアモツ小学校に寄贈される予定で、寄贈式では、日本から持参するTシャツやワークショップで現地の児童たちに作成してもらったTシャツを展示する予定とのこと。
 8月16日(木)には関係者らが役場に集まり、ファアモツ小学校の子どもたちがワークショップで使うTシャツにメッセージを書き込みました。
 なお、Tシャツの展示は小学校のほか、教員養成学校、観光局



Tシャツにスタンプを押してデザイン



食事を楽しむ利用者ら

るし、この取組が親の帰りが遅い子どもにとっても良い機会になれば」と話しました。

こども食堂「ききょう」
 あったかふれあいセンターにしきの広場で8月22日(水)、大方高校2年生の企画・運営によるこども食堂「ききょう」が開かれ、町内外から30人以上が訪れました。
 このこども食堂は、同センターが「孤食の問題解決だけではなく、生徒たちに料理を覚えて社会に出てほしい」という思いのもと、大方高校の授業で提案し始まったもので、同センターのスタッフとともに高校生が料理を作り、幅広い年代へ食事の機会を提供しています。
 毎月1回の開催で、今回は3回目。いつもはメニューが決まっていますが、今回はバイキング形式で約10品が並びました。
 運営に携わっている同校の嶋原心さんは、「料理をする機会があることは自分の将来のためにもなるし、この



アドバイスをを受け卵を割る子ども

活かし、今後は家で働く夫と話し合いたいと話しました。

朝ごはん料理教室
 栄養士による料理指導「朝ごはん料理教室」が8月19日(日)、保健福祉センターで開催され、町内在住の親子が参加しました。
 同教室は、栄養士の指導のもと、栄養ある朝ごはんを作ってもらおうと、町内の保育所年長から小学生、またその保護者を対象に開催されています。
 講師の濱田佐恵さんから朝ごはんの重要性などに関する説明があった後、今回は味噌汁、パンプディング、スムージーの3品を作りました。子どもたちは笑顔で調理し、最後には「美味しい」、「みんなで作って楽しかった」と話しながら食事をしました。
 保育所に通うお子さんと参加した森田麻里さんは、「普段はあまり野菜を食べない子だが、今日はたくさん食べていた。この経験を